

# 令和3年度 学校評価報告書

「学校評価」とは文部科学省の規定に基づき、幼稚園において、幼児がより良い教育活動を享受できるよう、その教育活動などの成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すために行われるものです。本所白百合幼稚園では保護者の方々にご協力いただいたアンケートに基づき、教職員で自己評価を行い、学校法人つくし野学園理事会において学校評価を行っております。

## 1. 教育目標

- ・正しい宗教心と道義心を培い、人格形成の基礎づくりをします。
- ・健康、安全な生活に必要な習慣態度を養い、体育を通して、身体諸機能の調和的発達を図ります。
- ・人への愛情や信頼感を育て、自立と協調の態度、および道徳心を養います。
- ・自然や社会の身近な事象に興味や関心を持たせ、豊かな心情や思考力を養います。
- ・話したり聞いたりして表現する意欲や態度、また漢字で遊ぶ特殊な方法で、言葉に対する感覚を養います。
- ・音楽、遊戯、絵画その他の方法により、豊かな感性を育て、創作的表現に対する意欲を養います。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1 園児確保に向けた取り組みについて考える
- 2 絵本や玩具など教具教材を整え環境構成を適切に行う
- 3 職員の仕事を明確化する

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園児確保に向けた取り組み	A	預かり保育、英語、ぴよちゃんプレイルームなど次年度から新しい取り組みを導入することを決定
2	環境構成を適切に行う	A	学年ごとに、子どもたちに適した玩具を選び、新たに購入した
3	職員の仕事を明確化する	C	職員間での重要なポイントについての確認、共有が十分に行われなかった

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
C	項目1、2については今後につながる成果を得ることができた。項目3については、達成に至らなかったが、臨機応変に動くこと、職員間のチームワーク、コミュニケーションの重要性に改めて気づくことができた。

◎「3. 4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 職員同士の関わり	・職員同士でのコミュニケーション（情報共有）を十分に行い、お互いを信頼・尊重する
2 人材育成	・人材の育成を行い、職員一人ひとりが自己研鑽に努める
3 コロナ禍での対応	・子どもたちの経験や発達のためにコロナ禍も保育や行事を充実させる
4 魅力的な保育	・子どもたちが楽しめる魅力的な保育を行う

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

保護者や教員の生の声を活かし、幼稚園の教育・運営の改善を進めて欲しい。  
また、コロナ対策を講じつつも幼稚園教育の大切にすべきところは守り、withコロナのあり方を考えていって欲しい。